

問題発見型/解決型学習(FBL/PBL)L 2 (2)

[履修要件]

特になし。ただし、各自の専門分野における分析能力・問題解決能力を有することが期待される。毎年度、具体的な授業計画（プログラム）は異なるため、随時、LMS上の科目サイトにて情報を掲載する。これらのスケジュールと調整し、プログラム実施担当教員とともに履修のスケジュールを組んでください。

[成績評価の方法・観点]

FBL (Field based Learning)/ PBL (Problem based Learning)を通して、デザインの実践を行い、デザイン理論とデザイン手法の習得することを到達目標とする。

- ・問題発見や解決に用いる手法の修得状況 5 割（レポートや試問による）
- ・問題発見や解決結果の質 2 割（レポートや試問による）
- ・チームへの貢献 3 割（教員の観察による）
- ・なお、8 割以上の出席を単位的前提とする（教員との相談による）

[教科書]

実習で用いる資料は、適宜配布する。

[参考書等]

（参考書）

実習で用いる資料は、適宜配布する。

（関連URL）

(授業中に指示する)

[授業外学修（予習・復習）等]

各プロジェクトの実施責任者から適宜指示する。学期の中盤に中間発表会を開催し、履修者間の情報共有、並びに他者からのフィードバックを得る機会とする。中間発表会には原則として全参加者に参加を求める。

[その他（オフィスアワー等）]

実施予定のテーマと日程について、前後期セメスター開始時などに、LMS上の科目サイトに掲載するので、内容を確認の上、履修登録および参加申し込みを行うこと。メールアドレス等もそこに掲載される。

履修希望者、履修生はこれをよく見てください。具体的な質問などは、アポイントを経ることとするので、メール等による質問を適宜受け付ける。

[主要授業科目（学部・学科名）]